

家庭クラブ通信

10月号

発行/愛媛県立川之江高等学校家庭クラブ



① 「芝小僧」作り

「芝小僧」とは、土、ストッキング、フェルトで人形を作り、その頭部に芝の種を仕込んでおくことで、芝が生えると髪の毛のように見える人形です。保育や園芸セラピーとして活用されているそうです。

本来であれば、6月に家庭クラブ東予支部研究協議会が西条農業高校で開かれ、その研修会として行う予定でしたが、研究協議は書面審議となり、研修会は中止となりました。研修会を企画していた西条農業高校から芝小僧の材料が送られ、各校で実施することになり、本校では9月11日、2年生家庭クラブ役員と1年生家庭クラブ委員で芝小僧作りを行いました。約2週間経った芝小僧は文化祭で展示しました。



思い思いの芝小僧になりました 10日後、8cmほどに伸びました

② 文化祭「家庭クラブ活動・家庭科作品展」

9月25日、文化祭において「家庭クラブ活動・家庭科作品展」を行いました。2、3年生の中には恒例の手作りクッキーを心待ちにしてくれた人もいましたが、コロナの影響により断念せざるを得ませんでした。来年はコロナが収束し、手作りクッキーも販売できる状況になることを願います。今年は新たな試みとして、コロナ感染者及び医療従事者への偏見や差別防止を掲げた「シトラスリボンプロジェクト」に賛同した活動を行いました。シトラスリボンキーホルダーを購入してくださった皆さん、ありがとうございました。収益金 **2,700円** は募金させていただきます。



<シトラスリボンキーホルダー>



<水引体験>

<3年「子どもの発達と保育」季節に応じた壁面飾り>



<3年「ファッション造形基礎」じんべい(下衣)>



<1年 ポンポンマスコット>



<ホームプロジェクト>



<家庭クラブ活動報告>



↑ハートの折り紙は 203 が担当

<芝小僧>



<シトラスリボンの壁面飾り>



作品名「絆」 デザイン：藤田瑠菜

制作：家庭クラブ委員

練習でできたシトラスリボンやこれまでの家庭クラブ活動で先輩が作った水引作品などを使って壁面飾りを作りました。

一つの作品をみんなで作る、先輩から受け継いだ水引を使った家庭クラブ活動、コロナ禍においても人々の心の絆が深まるように…など様々な思いを込めて、作品名を「絆」としました。

③ 「フラワーバンク」報告～花の成長日記～

ミニひまわりは9月上旬に花の見頃が終了しましたが、百日草、けいとうはまだ花を咲かせています。特に百日草は途中で剪定をしなかったため、茎は様々な方向に伸びていき、その姿はどんな環境でもたくましく生きていく強さを感じさせます。晩秋まで咲くそうですので、引き続き鑑賞してください。

